

徳島赤十字病院臨床研修プログラム：内科（血液内科）

【一般外来（総合内科）並行】

コース責任者：尾崎 敬治

研修期間：必修科（内科）として28週間のうち6週間

選択必修科（内科）として28週間のうち4週間

選択科として4週間から

I：一般目標（GIO：General Instructional Objective）

医師として望ましい姿勢・態度と基本的な診療能力を身に付け、血液疾患の診療を通じてプライマリケアに必要な血液学の知識および技術を習得する。

II：行動目標（SBOs：Specific Behavioral objectives）

A. 基本姿勢・態度 研修医手帳を参照

B. 診察法・検査・手技

①主な医療面接・基本的な身体診察法

- 1) 血液科患者の医療面接、身体診察（特に、貧血、出血傾向、リンパ節腫脹のある患者）を正確に行うことができる。
- 3) 全身を系統的に診察し、所見を挙げるとともに正確に診療録への記載ができる。
- 4) 診断基準、病型分類、合併症・併発症、特有な検査を理解し、評価することができる。
- 5) 頭頸部、胸腹部の診察、リンパ節の触診を行うことができる。

②主な基本的な臨床検査

- 血液疾患の検査の適応を判断し、実施することができる。
- 1) 末梢血検査を実施し、その結果を解釈することができる。
（血算、白血球分類、赤血球恒数、網状赤血球、検鏡による診断など）
- 2) 凝固線溶系検査を実施し、その結果を解釈することができる。
（プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間、フィブリノーゲン、FDP、ATⅢ、Dダイマーなど）
- 3) 血液生化学検査を実施し、その結果を解釈することができる。
（GOT、LDH、電解質、BUN、血清鉄、フェリチン、不飽和鉄結合能、葉酸、ビタミンB12、ハプトグロビンなど）
- 4) 血漿タンパク検査を実施し、その結果を解釈することができる。
（血清電気泳動、免疫電気泳動など）
- 5) 血液免疫血清学的検査を実施し、その結果を解釈することができる。
（免疫グロブリン、CRP、 β 2MG など）
- 6) 血液型判定・交叉適合試験、クームス試験を実施し、その結果を解釈することができる。

- 7) 細菌学的検査を実施し、その結果を解釈することができる。
(痰、尿、血液などの検体採取、グラム染色など)
- 8) 骨髄穿刺を実施し、その結果を解釈することができる。
(骨髄像など)
- 9) 髄液検査を実施し、その結果を解釈することができる。
- 10) 染色体検査、細胞表面抗原、分子生物学的マーカー検査を実施し、その結果を解釈することができる。

○ 主な血液疾患の画像検査の適応を判断し実施することができる。

- 1) 放射線検査を実施し、その結果を解釈することができる。
(CT、MRI、シンチグラフィ、PET-CT など)

③主な基本的手技

- 1) 採血法（静脈血・動脈血）を行うことができる。
- 2) 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保）を行うことができる。
- 3) 骨髄穿刺を行うことができる。
- 4) 腰椎穿刺を行うことができる。
- 5) 赤血球および血小板輸血の適応を判断し実施することができる。

C. 主な症状・病態の経験

①疾患

- 1) 赤血球系疾患を経験することができる。
(出血性貧血、鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、全身性疾患に伴う続発性貧血 など)
- 2) 白血球系疾患を経験することができる。
(急性白血病、慢性白血病、骨髄増殖性疾患、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、顆粒球減少症、血球貧食症候群 など)
- 3) 血栓止血疾患を経験することができる。
(特発性血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固症候群 など)

Ⅲ：学習方法 (LS : Learning Strategy)

1) LS (方略) 1 : On-the-job training

■主な病棟業務

- ・主治医を含む指導医または上級医の指導のもと、OJT を中心とした診療に参加する。指導医または上級医とともに診断・治療にあたり、正確に診療録へ記載する。
- ・担当患者の医療面接、身体診察や検査立案を行い、SOAP 形式で診療録に記録する。
- ・末梢血および骨髄標本を観察し、指導医または上級医のもとで診断する。

■主な外来業務

- ・指導医または上級医の指導のもと、外来患者の診療にあたり、正確に診療録に記載する。
- ・指導医または上級医とともに総合内科の外来診療に参加し、初期診断・経過評価・治療調整や療養指導のプロセスを学ぶ。

2) LS (方略) 2: カンファレンス・勉強会

- ・グループカンファレンス、合同カンファレンスにおいて、担当患者の症例提示を行う。

3) LS (方略) 3: 学会・研究会・学術活動

- ・学術講演会や各種の院内研修（医療安全や感染対策など）に積極的に参加する。
- ・血液疾患に対する講演会や研修会に積極的に参加して知識を深めるとともに、学会発表や症例報告論文を作成する能力を身に付ける。

○週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	病棟診療	病棟診療	病棟診療	検査・手術 (不定期)	病棟診療
午後	検査・処置	検査・処置	検査・処置	検査・処置	検査・処置
	内科全体カンファレンス	合同カンファレンス (隔週)	病棟・外来	病棟・外来	病棟・外来
	グループカンファレンス	グループカンファレンス	グループカンファレンス	グループカンファレンス	グループカンファレンス

* 1日/週は総合内科の一般外来研修を並行する。

IV: 学習評価 (EV: Evaluation)

PG-EPOC による総合評価

- 1) 個々の診療記録と退院要約（サマリー）は、定期的に指導医の評価と承認を受ける。
※退院要約（サマリー）は、1週間以内に記載すること。
- 2) ローテイト研修終了時に、PG-EPOC に診療経験にもとづく自己評価を行い、指導医による評価を受ける。
- 3) 診察態度や協調性について看護部及びメディカルスタッフ等による 360 度評価を行う。